

地籍調査事業における24年度の計画内容と完成年度を伺う。

A 松谷農業委員会事務局長

現時点では全ての調査が24年度で終了する予定。スケジュール的には、今年度、計画通り滝下・川上地区の一筆調査を行い、地籍図の作成、仮閲覧を行った後、本閲覧を行い、国の認証登記で終了する予定になっている。

■商工費(歳出)

Q 山内委員

①地域資源活用促進協議会補助金の事業内容を伺う。

②観光振興補助金を昨年度から増額(50万円)した要因は。

A 仲島経済課長

①町内の優れた資源を活用し、消費、販路の拡大、地産地消の活性化を図ることを目的として、青空市・産直市にかかる経費、地域資源を活用した料理教室、各種物産展、イベ

ント等への参加が主な内容。

②南は松前町から北は稚内市までの70kmを「鯨街道」と命名し、各市町村

共通の標柱を設置することにより、広域観光振興事業を推進する。



■土木費(歳出)

Q 藤田委員

住環境整備事業補助金については、平成23年度で終了のところ、町民の要望により1年間延長されることとなったが、引き続き町民からの要望が

あった場合、25年度も継続する考えはあるか。

A 鈴木生活環境課長

この補助金については21年度に8件、22年度に28件、23年度に44件の実績があり、今年度継続実施することにより、町内の需要が概ね終了するものと考えている。

■教育費(歳出)

Q 向井委員

現在、学校の水泳授業については小平高等養護学校のプールを借りて行っているが、本町には海もあり、川もあり、危険な場所もたくさん身近な場所にある中で、子どもたちの命を守る授業の場として、プール施設は最低限必要であると思うが。

A 関町長

町民プールという観点からお答えするが、ゆつたりかん前広場の再開発計画を今年度予算に計上しているところであるが、

仮にプールを設置するとなると風力や太陽光発電といった自然エネルギーを活用したプール施設をその周辺にという構想は持っている。25年度以降の投資的事業計画の推移を見ると、近い将来は難しいと考えているが、町民の健康増進という観点からも必要な施設であると感じている。

Q 山内委員

①社会科副読本改訂委託(小平町の自然、産業、生活といった町の概要を学習教材用に編集したのも)27万円の内容について伺う。

②新築した小平中学校の暖房料が他の学校と比べ、突出(他の学校の1.3、2.5倍)しているが、今後、

公共施設の建設にあたっては設計当初からもつと燃料コストを考慮したものに直すべきでは。③小平町郷土資料館調査設計委託320万円という設計業務では相当大きな額が計上されているが、詳

細について伺う。

A 長田管理課長

①現在使用している副読本は平成8年以前の内容であり、平成23年度から複数年計画で現在の実態に即した改訂を行う。今年度については製本まで行う予定。

A 鈴木生活環境課長

②小平小・中学校がセントラル暖房で、鬼鹿小・中学校がFFストーブによる個別暖房となっているため、このような差が生じている。燃料コストの節減を考えるのは当然であるが、学校(施設)機能として全室暖房も考慮しなければならぬため、その中で良いものを検討したい。

A 村井社会教育課長

③大きく分けて、地質調査、基本設計及び実施設計の3区分で行う。

Q 藤田委員

鬼鹿小校舎耐力調査

(441万円)の内容と鬼鹿中の今後の方向性について、現時点の状況を伺う。

A 長田管理課長

校舎は築後50年近く経過し、老朽化も著しく、屋根については大きな地震があった際、倒壊する危険性のある建物となっており、改築の必要がある。これらを総合的に考え、改築又は大規模改修を検討するため調査を実施する。

A 横田教育長

昨年11月に策定した学校再編計画(平成27年度から小平中と統合)を4月に開催されるPTA総会の議題に上げ、方向性を出すことになっている。

以上、2日間にわたり

審議された平成24年度の一般会計及び各特別会計予算は原案のとおり可決されました。

なお、紙面の都合により、質問及び答弁、説明の一部を省略しています。